

当院にて治療困難胆管結石に対する HGS/HJS ルートを介した切石治療を受けられた患者さんの診療情報等を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	治療困難胆管結石に対する HGS/HJS ルートを介した切石治療の検討
研究実施機関の 研究責任者	九州医療センター 消化器内科 責任者氏名 加来豊馬
研究の背景	術後再建腸管症例や大結石・積み上げ結石症例などは通常の ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）では治療困難な場合も多く Difficult Stone と称されています。近年、術後再建腸管症例における胆管結石に対してはバルーン内視鏡を用いた ERCP が普及しているが、胆管空腸吻合部や乳頭部まで到達困難な場合もあり、更に大結石・積み上げ結石では治療に難渋することがあります。術後再建腸管に対する新たな胆道ドレナージとして EUS 下胆道ドレナージ (EUS-BD) が脚光を浴びており、当院においても術後再建腸管などの ERCP 困難症例に対して EUS-BD にて対応していますが、同処置にて形成された消化管胆管瘻は単なるドレナージルートとしての機能のみならず同瘻孔を介した結石治療への発展が可能となっています。そこで今回当院において術後再建腸管を主とした ERCP での困難結石症例に対して EUS-HGS/HJS*ルートを介した切石治療の成績と有用性を後方視野的に検討しました。 *EUS-HGS/HJS：超音波内視鏡下肝胃吻合術/肝空腸吻合術
研究目的	当院における治療困難胆管結石に対する HGS/HJS ルートを介した切石治療の現状を検討する
研究実施期間	【調査対象期間】 2020年11月1日から2024年8月31日まで 【研究期間】 倫理審査委員会承認後から西暦2024年11月30日まで
研究の方法	【対象となる方】 2020年11月1日から2024年8月31日までに治療困難胆管結石に対する HGS/HJS ルートを介した切石治療を受けた方 【調査方法】 診療録から情報を収集して、解析します。 【研究に利用する診療情報】 <input type="checkbox"/> 年齢 <input type="checkbox"/> 性別

	<input type="checkbox"/> 病歴 <input type="checkbox"/> 既往歴 <input type="checkbox"/> 治療歴【手術術式、内視鏡治療内容など】 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ 【Alb,T-Bil,AST,ALT,ALP,gGT,BUN,Cr,AMY,CRP,WBC,Hb,Plt,CRP など】 <input type="checkbox"/> 画像データ【CT、透視、内視鏡画像、MRI など】 <input type="checkbox"/> 有害事象【副作用・合併症の発生等】 【情報等の管理】 〈単施設研究〉 ●情報の管理責任者 九州医療センター 消化器内科（医長）（氏名）加来 豊馬	
個人情報の取扱い	（当院のみの研究の場合） 情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。	
研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。	
相談窓口	九州医療センター 消化器内科（職名：医長） 加来 豊馬 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700	